

令和4年度
第62回熊本県音楽教育研究大会

熊本市大会

10月25日(火)

大会主題

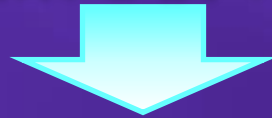
語り合おう
音楽の魅力を

響かせよう
未来につなぐ音楽を

設定理由

音楽のよさを理解して、共に語り合い、
思考を深化させ、新たな魅力を発見。
習得した知識・技能を生かした表現活動で
音楽の素晴らしさを共有、価値観を確立。

このような授業を積み重ねることで



音楽を継承し、豊かな未来を
築く力を育むことができる。

主題の解説

語り合おう 音楽の魅力をも

音や音楽の特徴やよさ

伝え合う 考える

イメージをふくらませ、思いや意図を広げ深める

響かせよう 未来につなぐ音楽を

知識・技能の発展 新たな音楽の創造
音楽文化の担い手として継承、発展、創造

音や響きに着目した学習・活動
知識・技能を活用し表現する活動
他者と共有・共感、協働して音楽をつくる

豊かな感性
心の涵養

研究の仮説

学習内容のつながり

児童生徒が自ら課題を設定
見通しを立て、学びや変容を
自覚できる振り返りの場面設定

他者とのつながり

対話⇒学習を省み、考えを広げ
深める場面の設定

次の学習や生活とのつながり

身につけた力を自覚、次の
学習に生かそうとする
評価の方法の工夫

「つながりのある」

授業づくり



自ら音楽を奏で、音楽
の魅力について語り合
い、未来に継承し、生
涯音楽に豊かに関わる
児童生徒を育成できる。

研究の視点

視点1

「めあて」「振り返り」の工夫

児童生徒が主体となり、学習の見通しを持ち、課題意識と意欲をもってとりくむ

「めあて」

自分の変化に気付き、次の学びや生活に生かそうとする

「振り返り」

視点2

「対話」の場面設定の工夫

イメージ、感情、思いや意図などに自分を考えをもち、伝え合う



感じ方、考え方を深める「対話」

視点3

「評価」の工夫

評価の場面を精選、身につけた力を児童生徒が自覚、次の学習や生活に生かすことのできる

「評価」の方法